

# 教育に関する事務の管理及び 執行の状況の点検及び評価結果

朝日町教育委員会では主要な施策や事務事業の取り組みについて点検及び評価を行い、課題や方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、行政の透明性を高め、住民への説明責任の向上を図ることを目的とし「平成22年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」を作成しました。評価については、平成21年度事業について実施し、その結果を次のとおり公表します。

## I 評価結果

所属名	対象事業数	次年度以降に向けた改善												教育委員会で評価が変更となった事業数
		第1次評価（自己評価）						教育委員会						
		継続	拡大	縮小	見直	休止	廃止	継続	拡大	縮小	見直	休止	廃止	
教育総務	44	35			1		8	35			1		8	
幼稚園	27	27						27						
小学校	17	13	1		3			13	1		3			
中学校	10	3	4	1			2	3	4	1			2	
生涯学習	47	40		1	1	2	3	40		1	1	2	3	
文化振興	32	28	4					28	4					
合計	177	146	9	2	5	2	13	146	9	2	5	2	13	0

## II 今後の取り組み

今後の方向性について、約82.5%の事務事業を「継続」と評価しました。教育関係の事業においては、5年後・10年後に成果が出てくるものもあり、長期的な視点のもと更なる多くの成果が得られるよう事務事業の目的、必要性等を踏まえ新たな発想による効果的な手法がないか常に問題意識を持って事務事業の遂行に努めます。また、特に次の点について改善充実等に努めます。

- ① 学校施設の整備等において、厳しい財政状況の中、児童生徒の安全性の確保を第一に考え、積極的な対応と計画的な整備に努めます。  
英語教育においては、国際化の進展に伴い、また、新学習指導要領にも対応すべく英語教育の充実を中学校はもとより、幼稚園・小学校でも積極的に取り組みます。
- ② 小中学校では、児童生徒の情操教育向上のため演劇鑑賞を実施しており、『本物を見る』『本物を体験する』ことは、心を育む学習に教育効果は大きいと思います。  
児童生徒の豊かな感受性を育てるためにも『本物を見る』『本物を体験する』ことは一生の宝物にもなります。今後も心の琴線に触れるような本物体験ができるよう更なる充実に努めます。  
また、自然教室においては、集団活動を通じて規律や社会性を見つける良い機会であり、この体験は目に見えない効果があるため今後も継続するように努めます。
- ③ スポーツや芸術などにおいて、秀でている児童生徒に対し更なる能力向上、後輩たちの目標となる人物育成のため、遠征費などに対する助成の充実に努めます。
- ④ 育ちのリレーは、保幼小中の途切れのない子供の育ちの中では重要なことであり、子供たちの教育理念として社会的責任を自覚し、「知・徳・体」の調和の取れた人間育成のためには、あらゆる取り組みが必要と思われるため、時には保護者も含めて継続するように努めます。
- ⑤ 小中PTA活動においては、子供が被害者となるような事件が起きないように子供会やPTAの果たす役割は大きいものがあり、その活動支援に努めます。
- ⑥ 生涯学習施設の有効利用を推進するため、町民ニーズに応えられる学習機会を提供し、内容の充実に努めます。また、若い世代が増えてきているため、町民に親しまれる施設となるように努めます。

※「平成22年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」は、教育委員会教育課・教育文化施設・朝日町公民館にて閲覧できます。